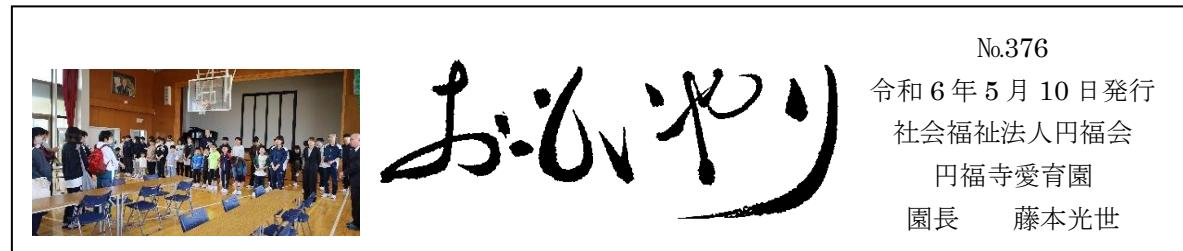


新年度がスタートして、1ヶ月が経ちました。



「子どもを幸せにする」とは子どもの可能性に蓋をしないこと

園長 藤本光世

将来の職場として児童養護施設を視野に入れている学生の皆さんに、愛育園を知ってもらおうと始めた、4回目の施設見学会ができました。18人の参加でした。とっても良い見学会になりました。参加してくださった皆さんありがとうございました。

昨年の75周年記念式典で社会的養護の目的（使命、目指すもの、ミッション）を「措置された子どもを幸せにする」と話しました。では、「子どもを幸せにする」とは、具体的にはどうすることなのでしょう。

それは、子どもの可能性に蓋をしないことなのです。「皆さんも同じですね。皆さんには、可能性があります。それはやってみないと分からぬのです。それに蓋をしてはいけない。無限の可能性を伸ばしてあげること、それが子どもの幸せと思いませんか。」そう話しました。例えば、夜遅くまでゲームをして、朝起きられなくて学校へ行かないなどということは、その年代でしか伸びない、大切な可能性を潰しているのです。

ところが、人の可能性は自分で伸ばそうとしない限り、伸びないので。朝起きること一つとっても、自分が起きようとしない限り起きられないのです。

どうしたら、子どもたちが自分から、自分を伸ばそうとするのでしょうか。

一つは、良い環境に入れることです。良い環境というのは、まず良い子ども集団です。悪い子ども集団に入ると「朱に交われば赤くなる」というように、子どもは自然と悪くなるのです。私が入ったばかりの愛育園がまさにそんな状態でした。あれから16年、子どもたちは良い集団に生まれ変わりました。例えば、家でゲーム漬けで昼夜逆転した子がいたとしましょう。それが、愛育園に来ると、みんなやっているからと、自分から朝6時に起床しておまいりするようになります。お手伝いも、みんなやっているからと率先するようになります。不思議でしょう。

次に、良い職員集団です。「子どもたちを楽しませてやりたい。」「子どもたちを幸せにしてやりたい」と本気で思って、無私の心で子どもたちに尽くす職員たちの存在です。職員は、どこに連れて行ったら子どもたちが喜ぶだろうかと、下見までして計画します。釣り、公園遊び、虫取り、

（令和6年5月10日発行 月刊「円福」524号付録）

魚取り、鬼ごっこ、野球、花見会など、自然がいっぱい愛育園の周囲に連れて行きます。子どもたちは心を開いて思いっきり遊ぶことができます。「思いっきり遊び、心を解放すること」に、自分から自分の可能性を伸ばそうとする心を生み出す鍵があると思いませんか。

愛育園の良い子ども集団と良い職員に包まれた良い養育環境は、子どもを幸せにするのに適しています。愛育園の養育の特長を更にお話しましょう。

それは、調理職員と直接支援職員が分かれていることです。一般家庭では、主にお母さんが食事の準備と子どもの世話をしますよね。でも、子どもを思いっきり遊ばせ、子どもを成長させるために、両方を行うのは難しいのです。調理職員は季節の食材を使った、思いっきり美味しい手作りお料理を提供する。そして、支援職員は子どもの心を開き満たすことに全力を注ぐ。これが愛育園の養育です。

もう一つ、愛育園養育の良いところをお話しましょう。それは職員が助け合えることです。集団養育は職員も集団で養育が開かれていますから、実践を通して学びあい助け合うことができます。家庭では養育者は一人ですからそうはいきませんね。子どもの養育はやってみて初めて分かるのです。やってみて学びあって養育力を高めるのです。成長するのです。困ったときは助け合うのです。それが常にできる仲の良い愛育園職員の開かれた集団養育は素晴らしいと思いませんか。

私のお話を聴いた参加者の感想を二つ紹介しましょう。

講演の中で“幸せとは何か”について深く考えさせられました。可能性にふたをしないこと、みんなで考え合って自分に合った答えを出していくこと、目的意識を持って行事も全力で取り組み学びを得て、変化していくことが大切であることを知ることができました。そのための協力し合って共に寄り添い成長していく環境がここ円福寺は充実していると感じました。職員、子どもたち、ご飯をつくる人、施設にいる人全員が全力で何事も行つていける素敵な“いい集団”であり、きっと円福寺で働くことができれば自分自身の大きな成長につながるのではないかと思いました。

この見学会の子どもたちとの交流を通して私自身心がすごく温かくなつて充実した幸せな時間だったと感謝の気持ちです。箸ピーやあっちむいてほい、園歌などに全力で取り組んで全力で笑つて全力で応援する姿を見ると、この子たちには無限の可能性があるんだ、この子たちの将来をサポートしたいと感じました。また集団で何かに取り組むことの大切さも園長の藤本さまのお話や活動を通して学びました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



園長先生のお話から始まり、あっち向いてほい大会や箸ピーチ大会など充実した半日を過ごすことができ楽しかったし、将来の自分のためにすごくいい時間を過ごせました。「幸せ」とはふたをしないで出来るだけ伸ばし、自分で道をひらかせる、というお話を聞き心に響きました。今日の見学会も、将来のために行こう、と決意し、結果的に視野も広がったし自分で道をひらけたと思います。また、集団養育を行っているからこそ、職員同士も助け合え、良い子ども環境ですし、たくさん行事があるということで心の底から楽しめ、子どもが安心して過ごせている、子どもが自分から伸びようとするというお話を聞き、実際に愛育園さんの子どもと触れ合ったときすごく感じました。すごくいい経験になりました。本日はありがとうございました。

実は、集団養育にこそ社会的養育の無限の可能性があります。国も児相も自治体も「家庭的養護」一辺倒ではなくて、この事実を知っていただきたい。そのために当園はすべてを隠さず養育を開いています。実践で世に問います。それが私の痛切な願いです。

施設見学会 職員 欽迎の言葉

あおぞらホーム K・A

本日はお忙しい中、円福寺愛育園の施設見学会にお越しいただき、ありがとうございます。私は愛育園で働き始めて、今年で3年目となる、K・Aです。今日はせっかくお話をさせて頂く機会をもらえたので、私が2年間働いてきて感じる、この仕事の大変な点ややりがい、今まで働いて印象に残っている事、就職活動についてなど話していきたいと思います。

私が愛育園で働いてきた2年間を振り返ると、数えきれないほどたくさんの思い出があります。それは良いことばかりではなく、大変なこともたくさんありました。大変なこととしては、行事の準備や子どもたちとの関わりなどがあげられます。愛育園は他の施設よりも行事が多く、準備に追われる事も多くあり、行事の準備期間は他の事が手につかなくなるほど、忙しくなることもあります。ですが、行事当日を迎えると子どもたちだけではなく、職員も思いっきり楽しんでいる姿を見ることができます。そのような姿を見ていると、「頑張って良かったな」と思えます。また、子どもたちとの関わりについてですが、3年目に入った今でも、「うまくいかないことばかりだな」と感じます。そんな時には、私が一年目の時から先輩職員の方々がよく言っている、「うまくいかなかったらまた考えればいい」という言葉を思い出すようにしています。この仕事は答えがない仕事だと思っています。子どもたちの関わり方に関しても、職員一人一人の特徴があり、良さがあります。先輩の真似をしたからと言って、上手くいくとは限らない部分もあるため、最初は苦労することも多いですが、自分の中で色々試して、上手くいったときの嬉しさは他に変え



られない、良さがあると思っています。

私は現在、小学生の男の子たちと主に関わっています。その中には、私が1年目のときから関わりを持っている男の子がいます。その男の子は自分の気持ちを相手に伝えることを苦手としていたのですが、最近は自分の気持ちや思っている事を伝えてくれることが増えてきました。そして話をしている様子を見ても、話し方が上手くなったなと感じます。職員と関わりたくても自分から関わりにいく事を苦手としている為、自分から誘ってくることは少ないですが、職員と一対一で関わっている姿を見ていると、とても嬉しそうにしています。その嬉しそうな笑顔が見られることが私自身もとても嬉しく、今まで以上にこの子と関わっていきたいと思えます。今はそう思えるのですが、1年目の私はそうは思えませんでした。自分が関わっている子どもたちの中で、一番関わりづらい子だと思っていました。ですが、今はとても関わりやすく、話しやすい子どもであると思います。関わりづらいと感じている中でも、関わることをあきらめなかつた結果が、今に繋がっているのだと思います。この仕事を続けていくと、ふとした瞬間に子どもの成長を感じられることがあります。その成長をすぐ近くで感じられるところがこの仕事を選んでよかったですと感じる点もあります。

私が今まで働いてきて、一番印象に残っていることは1年目の時に当時のまごころホームの中高生・職員と愛育園祭で披露した、書道パフォーマンスです。私は愛育園に入職する前、内定が決まったところで、園長先生から「もしよかつたら愛育園祭に顔を出してみないか」と誘われ、愛育園祭に参加させていただいたことがあります。その時に初めて中高生の書道パフォーマンスを見させていただき、とても感動しました。その一年後に私も中高生に混ざって書道パフォーマンスをさせていただくことになるとは思いもしなかったので、少しごわくわくした気持ちになったのを覚えています。書道パフォーマンスの練習中には書いた文字を客観的に見ながら、「そこはこうした方がいいんじゃない?」や「この文字すごく上手だね」などお互い言い合いながら、練習に取り組んでいました。その雰囲気もとても良く、みんなの本気が伝わってきました。その時の書道パフォーマンスは途中でデザインを変えたり、担当する文字も変わったりと一筋縄ではいかない感じがありました。ですが、中高生が書道パフォーマンスと真剣に向き合っている姿を見て、「自分も頑張らなければ」と思うことができました。そして、愛育園祭当日となり、書道パフォーマンスが始まりました。取り組んでいる最中は必死だったので、あまり記憶はないのですが、書き終えて書道半紙を持ち上げた時の達成感は何物にも代えられないものであると思いました。

この仕事を続けていると、正直うまくいかないと感じることの方が多い、ふとした瞬間に「なぜこの仕事を選んだのだろう」と改めて考えてしまうこともあります。ですが、私がこの仕事を選んだ理由は、「人と関わることが好き」「子ども相手の仕事がしたい」という2点につきます。私は学生時代に福祉や保育、教育などについて学んできたわけではなく、今の仕事と全く関係の

ない分野の勉強をしていました。就職活動も元々はこのような業界とは全く関係ない業界を志望していました。ですが、就職活動をしていく内に「自分は本当にこの仕事がしたいのかな」や、「本当に自分のやりたいことって何だろう」と思う事が増えました。そのような時期に、自分の視野を広げるために参加した就職フェアでたまたま園長先生に出会ったことがきっかけで、この仕事を選びました。当時の私は「児童養護施設」という言葉は知っていたものの、それが実際どのような現場なのか、どのような子どもたちがいて、どのような仕事内容なのかなど分からぬことばかりでした。そのため、少しでも知識を入れようと思い、児童養護施設について書かれている本を読んでみましたが、上手く呑み込めないまま、入職することとなりました。そんな経緯で入職している為、最初は何をやってもうまくいくはずもなく、何もできない自分にいらだちを隠せないことも多くありましたが、2年間働くことにより、少しずつですが、できることが増えてきている気がします。

就職活動は自分の人生を左右するものではありますが、自分自身と向き合うことにより、自分の本当にやりたいことが見えてくることもあると思います。今、この説明会に参加してくださっている皆さんは今の時点で児童養護施設への就職も視野に入れている人が多いと思います。今回の施設見学会を通して、少しでも円福寺愛育園に興味を持って、ここで一緒に働きたいと思っていただけたら嬉しいです。いつの日か皆さんと一緒に働けることができたら、それ以上に嬉しいことはありません。

最後になりますが、私はこの2年間を通して子どもたちとの関わりでうまくいかないことがあっても、そこであきらめずに向き合うことの大切さを学ぶことが出来ました。学生時代の私は自分とは異なった考え方や、気持ちを抱えている人たちとはいくら話してもだめだと向き合うことをすぐに諦めてしまっていました。そのため、周りとのコミュニケーションがうまく取れず、大変な思いをしていた時期もありました。今、この施設にいる子どもたちも、それぞれ違う環境下で育ってきているため、異なった考え方や、気持ちを抱えています。そのため、自分の伝えたいことが相手になかなか響かないことや、うまく伝わっていないと感じることも多くあります。そのような中でも、あきらめずに向き合うことにより、相手のことをよく知ることができ、そこから関係性が大きく変わっていくこともあるのだと気付くことが出来ました。この気付きは、今後の人生において、そして人との関わりにおいて、とても大切な気付きであると思います。円福寺愛育園は、子どもたちとの関わりの中で、様々な気付きと成長が待っている職場であると思います。子どもたちと共に自分自身も成長していく、そんな場所です。皆さんと共に働き、共に成長していく日が来ることを願っています。

『施設見学会』

まごころ保育士 T・S



27日に施設見学会がありました。今年度は18名の学生さんを迎えての見学会でした。子どもたちとの交流会ではあっち向いてホイ大会と箸ピーチ団体戦を行いました。最初子どもたちは「あっち向いてホイ?」と今までやったことない内容だったので何とも言えない空気でしたが、前日の夜に体育館で流れの確認をして少し練習しようとなつた時にはみんな楽しそうにやつていて、こういうところが園のみんなの良い所だなと思いました。そのため、当日も緊張した様子もありつつ、子どもたちは学生さんたちと元気にあっち向いてホイや箸ピーチをやってくれました。また箸ピーチの時、子どもたちのあまりの箸運びの速さに驚いている方がたくさんいて、子どもたちの頑張りを見てもらうことができて本当に良かったと思いました。こうやって見学会を行うにあたって子どもたち全体が参加している施設であることを誇らしく思います。こうやって前向きに行動できる子どもたちのサポートをこれからも頑張りたいです。

施設見学会

あおぞらホーム F・K

円福寺愛育園では、4月27日に施設見学会を行いました。施設見学会の全体会では、園長先生や現場の職員からの話があり、愛育園での養育や愛育園での仕事の様子を知ってもらう良い機会になったと思います。私も昨年度に引き続き現場の職員として働いている中で、日々感じていることを話させていただきました。少しでも学生さん方の参考になればと思います。

また、全体会後の交流会では、子どもたちと一緒にあっち向いてホイ大会と箸ピーチのリレーを行いました。あっち向いてホイ大会は今年初めて行いましたが、非常に盛り上がり大人も子ども楽しむことのできる良い交流になりました。箸ピーチでは、愛育園で子どもたちが毎年頑張っているものを学生さん方にも一緒に体験してもらうことができました。このように今年の交流会も非常に楽しく良い雰囲気で、愛育園で生活する子どもたちの様子を知ってもらうことができたと思います。

今回の施設見学会を通して、学生の皆さんには児童養護施設、そして円福寺愛育園に興味を持っていただけたら嬉しく思います。お越しいただいた学生の皆さんには、本当にありがとうございました。



令和6年度まごころホーム長方針

まごころホーム長 I・S

令和6年度は新任の先生が2名加わり、児童10名、職員7名でスタートします。子どもたちが日々安心して過ごせるよう、また成長に繋がる関わりができるよう今年度は4つの目標を立てました。

1、子どもたちが安心して過ごせるホーム、元気いっぱい過ごせるホーム作り

まず幼児、小学生は外で活発的に遊ばせます。職員も一緒におもいきり遊び子どもと職員の関係性作りをしていきます。

中高生は関わり方がとても難しいです。特に高校生はどんな関わり方をしたらよいか迷うこともたくさんあると思います。なので無理に関係性を築こうとしなくて大丈夫です。でも気にかけてあげることはきっと出来ると思います。いつもより疲れた表情しているな、元気がないな、今日はいつもより元気だけど何かあったのかな?などそのちょっとした変化を見つけるだけでいいです!そういう気つきが今後関係性を築く上で大切になってきます。焦らず一緒に過ごす時間を共有していきましょう。そして子どもたちが毎日安心して生活するには、職員同士の信頼関係も大切です。些細なことでも報告したり、相談をしましょう。また子どもたちへの悩みも共有し、みんなで一つ一つ解決ながら同じ方向性を持って子どもたちの支援ができるように協力していきましょう!!

2、メリハリあるホーム

遊ぶときは遊ぶ、やるときはやる。楽しく話をするときはする、真剣な話をするときはしっかり話をしたり、聞く。そんなメリハリのあるホームを目指したいです。

3、ホーム行事を充実させる

今年度も引き続きホーム行事が活発的に行えるようにしていきます。子どもたちからホーム食を楽しみにしている声がよく聞かれるので、月1回のペースでできるようにしていきたいです。また長期休みは園で過ごす子も楽しく過ごせるよう計画していきたいです。

4、生活するスペースを整える

整理整頓を子どもたちが身に着けられるよう職員が見本になります。自室をきれいにするのはもちろん、みんなで使う共有スペースもきれいを使うこと、また時間を見つけこまめに掃除をし、きれいな環境を継続しましょう。また「物を大切にする」ことも生活の中で教えていきましょう。

以上4つの目標も中心に子どもたちが日々成長できるよう、まごころホーム職員全員が一丸となり今年度も頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

令和6年度 あおぞらホーム方針

あおぞらホーム長 T・M

令和6年度がスタートしました。昨年は子供たちの様子がなかなか落ち着かず、対応に追われる事が沢山ありましたが、その分、私たち職員にとって、沢山の学びがあった1年となりました。

また、あおぞらホームには大きな柱となる方針があるのですが、それは「集団で思いきり体を使って活動して(遊んで)、心を解放する。」という事です。この事が、後の自立に大きくつながっていく事を、既に愛育園を卒園して実社会でがんばり続けられている子ども達の生活の様子を見聞きし感じています。

だから私は、如何に柱としているこのテーマを実現できるか?その為のテーマを年度の初めに考える様にしています。

それを踏まえて今年度は以下の事をあおぞらホームの方針としてホームの先生方に以下の事をお願いしました。

1つ目は、「子どもに慕われる職員を目指しましょう」です。昨年度は、子ども達の問題行動や生活面に対する対応が上手くいきませんでした。「上手くいかなかった」というのはこちらの言葉を素直に受け入れてもらえなかつたという意味です。しっかりと関係性が出来ていれば全く難しくないような話でも難航したり、反発されてしまうという場面が多く見られました。だからもう一度、「関係性」という所に立ち帰って子供との関わっていきましょうという事を先生方に伝えました。また「慕われる職員」という事に関して、あまりプレッシャーに感じる必要はなく、何でもいいので子ども達の為にできる事を考えてやってみるだけで、子ども達の先生方を見る目は変わるという事を話させてもらいました。

2つ目は「謙虚な気持ちで子ども達と関わろう」です。これはエラそうな態度を取っていると子供に慕われないので気をつけましょうというそのままの意味もありますが、よく子供の様子を観て、子ども達の顔つきや言葉や背景など様々な事に注意を払って心の奥にある物をしっかりと掴んで関わって欲しいという事です。謙虚な気持ちでないと観る事を怠って本当の事を見誤ったまま表面的な出来事や行動に対して対応しようとすると上手くいかず、引いては「慕われる職員」からも遠ざかってしまいます。

こんな2つの話を年度のスタートにホームの先生方に伝えさせてもらいました。先生方は日々一生懸命に子ども達の為に頑張ってくださっています。更により良い関係を築いていきながら、子ども達が社会に出た時に立派に一人立ちができるような自立の力を集団の中で育んでいきたいと思っています。令和6年度もよろしくお願ひいたします。

高校に入学して

あおぞらホーム S・S

今年度愛育園では、5人の子たちが高校に入学しました。それぞれ、真新しい制服や服を着て学校に通っています。あおぞらホームの子は3人の子が高校に入学し、私は担当のY君の入学式に出席させてもらいました。入学式では、一人一人が名前で呼ばれ、返事をして起立する場面があり、Y君も呼ばれ、大きな声で返事をして起立していました。入学式の後は、各教室でのホームルーム、そして教科書販売がありました。生活に慣れるか、クラスで話せる子が作れるか不安そうに当日は話をしていましたが、入学して約1か月が経ち、一緒に弁当を食べたり、話せる子ができているとのことでした。

他の2人の子も友達という部分で心配していたように感じますが、特にR君は学校に行くのが楽しいと楽しそうな顔で話してくれます。毎日友達と待ち合わせて学校に行くのも楽しみの1つになっているようです。K君は放課後にクラブ活動でバスケットボールを始めました。活動を楽しみに、日々の生活も頑張っているように思います。それぞれ新しいことだけの3年間が始まったと思いますが、卒業、卒園するときにしっかりと通えて良かったと思えるように、充実した生活を送れるよう日々お世話していきたいと思います。

中学生になって

まごころホーム H・M

桜の開花が待ち望まれる中、令和6年度がスタートしました。今年度は2人の児童が中学校に入学をされました。新しい環境になり、不安や緊張を抱えた中だったと思いますが、帰ってくると、何人と話せたよと教えてくれたり、学校に楽しく通っている姿を見ると、とても嬉しくなります。

授業の内容も段々と中学生らしくなっていき、難しくなっていくので、丁寧にサポートしていけたらと思います。5月には最初のテストがあります。子どもたちのペースに合わせて支援していきたいと思います。

愛育園の職員になって

あおぞらホーム S・K

今年度から円福寺愛育園で勤めさせて頂いております。

入職後、何も分からぬ状態で不安な気持ちが大きかったです。諸先輩職員方から温かいご指導を受け、少しづつ業務に慣れてきたと感じています。しかしながら、子どもたちとの関わりは容易ではなく、特に主に対応している小学生において、些細な出来事が喧嘩や問題行動に発展



する事があり、常に細心の注意を払う必要があります。さらに、指導をしても思うように行動してくれない時もあり、その難しさを痛感しています。この課題を解決するためには子どもたちとの適切な関係構築が不可欠であると考えています。そのため、子どもたちとのコミュニケーションを大切にし、適切な信頼関係を築いていけるよう努めていきたいと思います。

また、新社会人ということで今までの生活から大きく変化するため、自身の体調管理をしっかりしつつ、精いっぱい頑張っていきたいと思います。

愛育園の職員になって

まごころホーム N・R

愛育園の職員になって約1ヶ月が経過し、仕事内容や子どもたちと関わることに少しづつ慣れてくれました。愛育園での生活は学ぶことばかりで、日々手探りではありますが、自分なりに頑張っています。

子どもとの関わりでは、特に幼児の対応が難しく、自分だけでは対応しきれないことが多いです。その度に、先輩職員に助けていただき自分で反省する毎日です。しかし、先輩職員にアドバイスを頂いたり、工夫した声掛けや行動により子どもの対応が変わったりすることが分かり、子ども一人一人に合わせた対応をして、常に考えながら学び、改善していくことが大切だと感じました。最近では、一人で対応できることや、子どもの方から遊ぼうと誘ってくれることが増え、少しづつ子どもとの関係性も変わってきたように思います。まだ信頼関係には及びませんが、日々の関わりや行事などで、信頼関係を築いていけたらと思っています。

仕事内容では、率先して動くことを意識しています。入職した当初は、言われたことだけをなすことに精一杯でした。ですが、今ではまずは自分から率先して動き、言われたことだけではなく、自分で気づいて動けるようになってきています。また、疑問やどうしたらいいのか分からぬときは、まずは自分で考えたうえで先輩職員に聞くことが大切だと思っています。

5月も精一杯勤めます。よろしくお願ひいたします。

愛育園の職員になって

まごころホーム K・A

4月から愛育園の職員になって1ヶ月が経ち、社会人という責任と想像を超える仕事の大変さ、子どもたちと関わる難しさを常に感じます。この仕事を始めてから、今までの生活と大きく変わり早番や遅番、宿直と日によって勤務時間も変わるために慣れるまで時間がかかり、業務の中で覚えることも多く、より社会人としての責任を持つつ仕事に励んでいます。

今は、幼児・小学生を中心に関わりを深めており、その中でも子ども一人ひとりとの信頼関係を築いて行くことが一番難しいことだと改めて実感しました。愛育園の職員になって間もなくの

頃、切り替えが難しい子に「〇〇しようね」や「〇〇やるよ」と声を掛けてもなかなか上手く相手に伝えられない時がありました。ですが、子どもたちは一人ひとり性格や物事の捉え方もまったく違い、その子その子に伝わりやすくする声掛け、気持ちの引き出しがあるのだと学びました。まだまだ思うようにいかないこともあります、様々な方法を試して、より子どもたちとの関係を深められたらと思います。

そして、愛育園の職員になって、あいさつや履物を揃えること、食事への感謝を自身の中でより身に付きました。日々周りの方々への感謝を忘れずに、これからも愛育園の職員として子どもたちと共に成長していきたいです。

愛育園の職員になって

栄養士兼調理員 K・H

3月から職員になってまだまだ至らないところばかりありますが、子どもたちに喜んでもらえるような献立作成又新しいメニューを取り入れながら新しい味を提供していきたいです。また、調理の先生方に協力してもらいながらこれからもおいしい食事を提供できるように献立作成を頑張っていきたいです。

愛育園の職員になって

調理員 I・H

今年度から愛育園の調理員として働かせていただいています。毎日食堂で子供たちの元気な姿を見て、よし！頑張ろうという気持ちになります。自分自身、新しい環境の中で不安もありますが、先輩方から色々なことを吸収して学び、子供たちに喜んでもらえるよう精一杯頑張ります。そして、行事なども楽しみながら仕事を通して私も成長できるよう毎日を過ごしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム M・N

桜が散り暖かな気候になり始め、過ごしやすい季節が近づいてきました。

あおぞらホームでは新しい先生1人を迎える年度がスタートしました。また、中学や高校に進学し新しく環境が変わった子もいます。4月初めは緊張していた子も今では少しずつ慣れてきて、和らいだ表情で学校へ行く姿を目にするようになりました。休みの日は公園に行ったり、魚を捕まえたりとアクティブに過ごし、子どもたちも楽しんでいる様子です。

本格的に学校が始まり、慣れてきたとはいえ新しい環境は心身共に疲れることもあります。園ではリラックスして過ごせるようにサポートしていきます。これから園の行事も少しずつ始まつ

ていくのでみんなで協力して良い形でスタートできたらと思います。

まごころホームだより

まごころホーム T・M

満開だった桜もすっかり散り、暖かい日が続いています。子どもたちは新学期を迎え、毎日元気に登校しています。まごころホームでは、高校生が二人、中学生が一人、入学をされました。また、幼児が一人幼稚園に通い始めました。新しい環境になり、毎日が新鮮なようで、1日どう過ごしたか教えてくれる子もいます。新学期は始まったばかりなので、進級した子たちも含め健やかに過ごせるようサポートしていきたいと思います。

5月には今年度初めての行事があります。大きな行事が初めての子もいるので、ホーム一丸となって挑んでいけたらと思います。

調理室だより

調理員 Y・K

桜の開花を前にして、新学期がスタートしました。1年間健康で楽しい学校生活が送れますようにと願いながら子ども達に満足していただける食事作りを励みたいと思います。

【4月特別メニュー】

11日 入学・進級お祝いメニュー

赤飯、串カツ、菜花のお浸し、コーンバター、牛乳寒天

【4月誕生日メニュー】

2日 カレーチーズドリア、鶏の唐揚げ、ポテトチップスサラダ、ヨーグルトケーキ

19日 カルボナーラ、ハッシュドポテト、生ハムサラダ、キャラメルフラペチーノ

23日 すき焼き、マカロニサラダ、ジュース

